



エコ発信局 ～いそちゃんの部屋～

ここでは、身近なところから環境意識を高めようと、エコに関する豆知識を発信しています。季節やブームなどに合わせて、月に一度のペースで更新していきますので、継続してお読みいただければ幸いです。

(「いそちゃん」とは執筆を担当する千葉大学環境 ISO 学生委員会のキャラクターです)

vol.8-2018年4月 正しい生活リズム

正しい生活リズムを心がけよう！

朝から活動して夜には休むという正しい生活リズムを心がけることで、一日を有意義または健康的に過ごすことができるだけでなく、夜遅くまで使用していた、照明、テレビ、エアコンといった電化製品の使用時間を減らすことができ、環境にも配慮となります(*)。



1

照明

1日1時間、夜の電気使用を減らした場合、1年間の二酸化炭素の削減量は、約470kg減らすことができます。また照明はLED照明を用いると、一般的な白熱電球に比べ寿命が長く、消費電力が小さいため省エネにつながります。



2

テレビ

家庭のテレビの使用時間を1日1時間短縮した場合、1年間の二酸化炭素の削減量は、約6.3kg減らすことができます。また当然ですが、テレビを見ない時はスイッチを消すということを徹底することで省エネにもつながります。



3

エアコン

家庭のエアコンの使用時間を1日1時間短縮した場合、1年間の二酸化炭素の削減量は、冷房の場合約7.9kg、暖房の場合17.1kg減らすことができます。テレビと同様、部屋にいないときはスイッチを消すということを徹底しましょう。



このように、朝は早く起きて、夜は早く寝るといった1日を送ることで unnecessary な夜の電力消費を抑えらるとともに、健全で充実した新しいライフスタイルを作ることができます！

環境 ISO 学生委員会の環境教育の紹介

環境 ISO 学生委員会では、教育学部附属幼稚園・小学校・中学校または近隣の学校などの、園児・児童・生徒に対して様々な環境教育を行ってきました。それらの活動の一部をご紹介します。



1

附属幼稚園の“クリーンデー”

“クリーンデー”は年長児を対象に行われる環境教育プログラムです。学生委員会が毎年主催しており、2017年度では「園内でできるリサイクル」をテーマに環境クイズと牛乳パックによる工作を行いました。

環境クイズでは、「リサイクルとは何か」から始まり、リサイクルするためにゴミを正しく分別することの重要性を学びました。ただ座って聞くだけではなく、園児が工作で使う材料や、幼稚園で出るゴミを実際に分別しながらプログラムを進めていくことで、体験に基づいた知識の定着を目指しています。

牛乳パックによる工作では、紙のリサイクルについて知ってもらうため、牛乳パックからパルプ玉が作られる過程について写真などを使って説明し、ブンブンゴマやバッジ作りを体験しました。体験を通じて牛乳パックが様々なものにリサイクルされる仕組みを学び、園児のリサイクルへの意識向上を図りました。



2

環境教育事業 “出張 eco 教室”

2017年度では2つの小学校にて“出張 eco 教室”を行いました。これは経済産業省が行っている「標準化教室」という事業に、「環境」という要素を加えた独自の授業です。環境に関する標準化された基準であるエコマークやグリーンマークなどの「環境ラベル」の説明を中心とした授業を通じて、「選択肢としての環境」を考えるきっかけを作ることが目的としています。さらに授業の中でワークショップを行い、企業から提供していただいた環境配慮製品を実際に手にとってみることで実践的な環境教育を行っています。写真は、千葉市内のとある小学校で行った様子です。



3

“環境だより”による環境意識の啓発活動

毎年2回、夏休みと冬休みの前に学生委員会が作成した“環境だより”を附属幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に配布しています。これにはそれぞれの学校での活動の報告とともに、省エネの豆知識などを掲載し、家庭での環境意識向上に努めています。